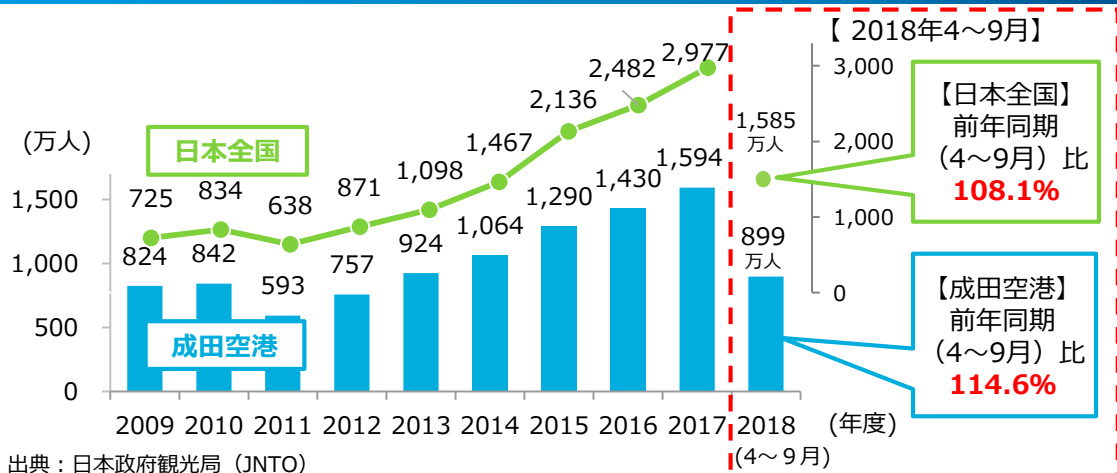


經營概況

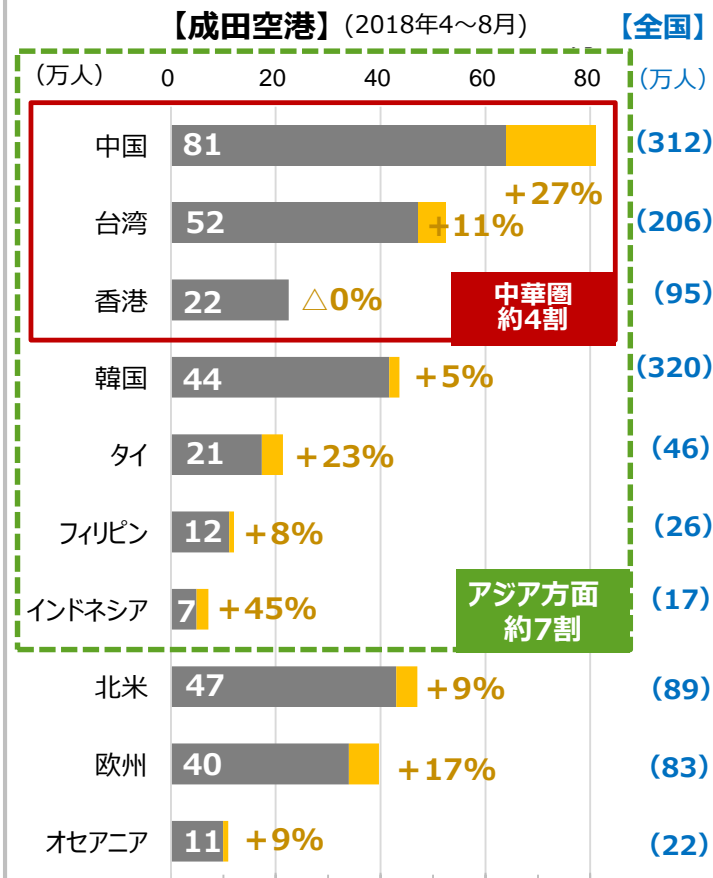
訪日外国人の足元の動向

- 日本全国の訪日外国人旅行者数は、台風や地震等の影響を一時的に受けたものの引き続き順調に推移
- 成田空港の国際線外国人旅客数は、旺盛な訪日需要や航空路線の拡充等により日本全国の伸び率を上回り過去最高

日本全国の訪日外国人旅行者数と成田空港の国際線外国人旅客数の推移

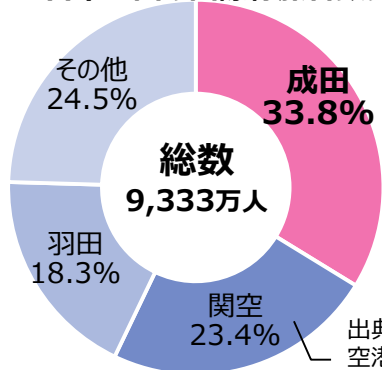


成田空港における外国人入国者数と前年同期比

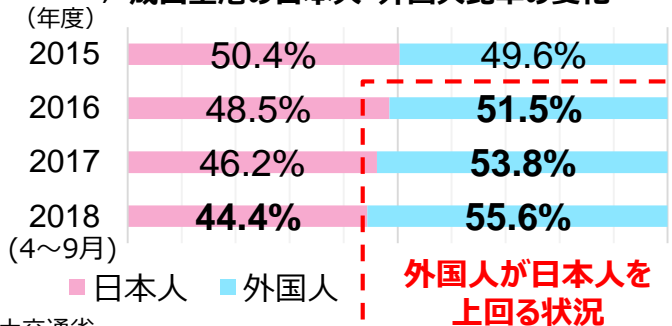


成田空港の全国シェアと日本人・外国人旅客比率の変化

→ 日本全国の国際線旅客数シェア



→ 成田空港の日本人・外国人比率の変化



出典：法務省出入国管理統計

新規就航・増便の状況

■ 成田ハブ化促進インセンティブを活用した路線誘致活動の効果等により、18年度も航空会社・都市ともに増加

新規乗り入れ航空会社

就航日	航空会社/路線	便数
2018年5月16日 ※1	オーストリア航空/ ウィーン	週5便
6月1日	<u>ノクスコート</u> / バンコク (ドムアン)	週7便
6月14日 (10月28日～定期便化)	マンダリン航空/ 台中	週7便
7月3日	フィジー・エアウェイズ/ ナンディ	週3便
12月7日	<u>タイ・ライオンエア</u> / バンコク (ドムアン)	週7便
2019年1月11日	<u>ベトジェット</u> / ハノイ	週7便

既存航空会社の増便

就航日	航空会社/路線	便数
2018年5月13日 ※1	フィンランド航空/ ヘルシンキ	週7便→14便
5月31日	<u>テーウェイ航空</u> / ソウル	週7便→14便
6月18日～7月31日	<u>ジンエア</u> / ソウル	週14便→週21便
7月1日～8月31日	デルタ航空/ ホノルル	週7便→14便
8月2日～9月30日	ハワイアン航空/ ホノルル	週7便→14便

既存航空会社の新規就航

就航日	航空会社/路線	便数
2018年4月29日 ※1	S7航空/ イルクーツク	週2便
5月2日 (10月1日～運休中)	<u>インドネシア・エアアジアX</u> /ジャカルタ	週7便
6月2日	エア・カナダ/ モントリオール	週7便
6月3日 ※1	S7航空/ ノヴォシビルスク ※2	週1便
6月29日	パキスタン航空/ カラチ	週1便
7月1日	<u>バニラエア</u> / 石垣	週7便
9月1日 (10月6日～運休中)	ニューギニア航空/ チューク	週2便
9月6日	<u>ジェットスター・ジャパン</u> / 長崎	週7便
10月28日	チェジュ航空/ 大邱	週7便
12月19日	<u>ジェットスター・ジャパン</u> / 高知	週7便
2019年3月15日	ロイヤルブルネイ航空 ※3 / バンドルスリブガワン	週3便
3月30日	<u>ジェットスター・ジャパン</u> / 下地島	週4便
3月31日	日本航空/ シアトル	週7便

・本ページ表中、太字は成田空港としての新規路線、下線はLCC
 マーキング箇所は11月以降の新規就航予定路線
 ※1：季節運航のため、2018冬ダイヤ（10月28日）～運休中
 ※2：旅客便としては初めての就航
 ※3：2016年11月に香港航空とのコードシェアとして就航済み

豊富なネットワーク

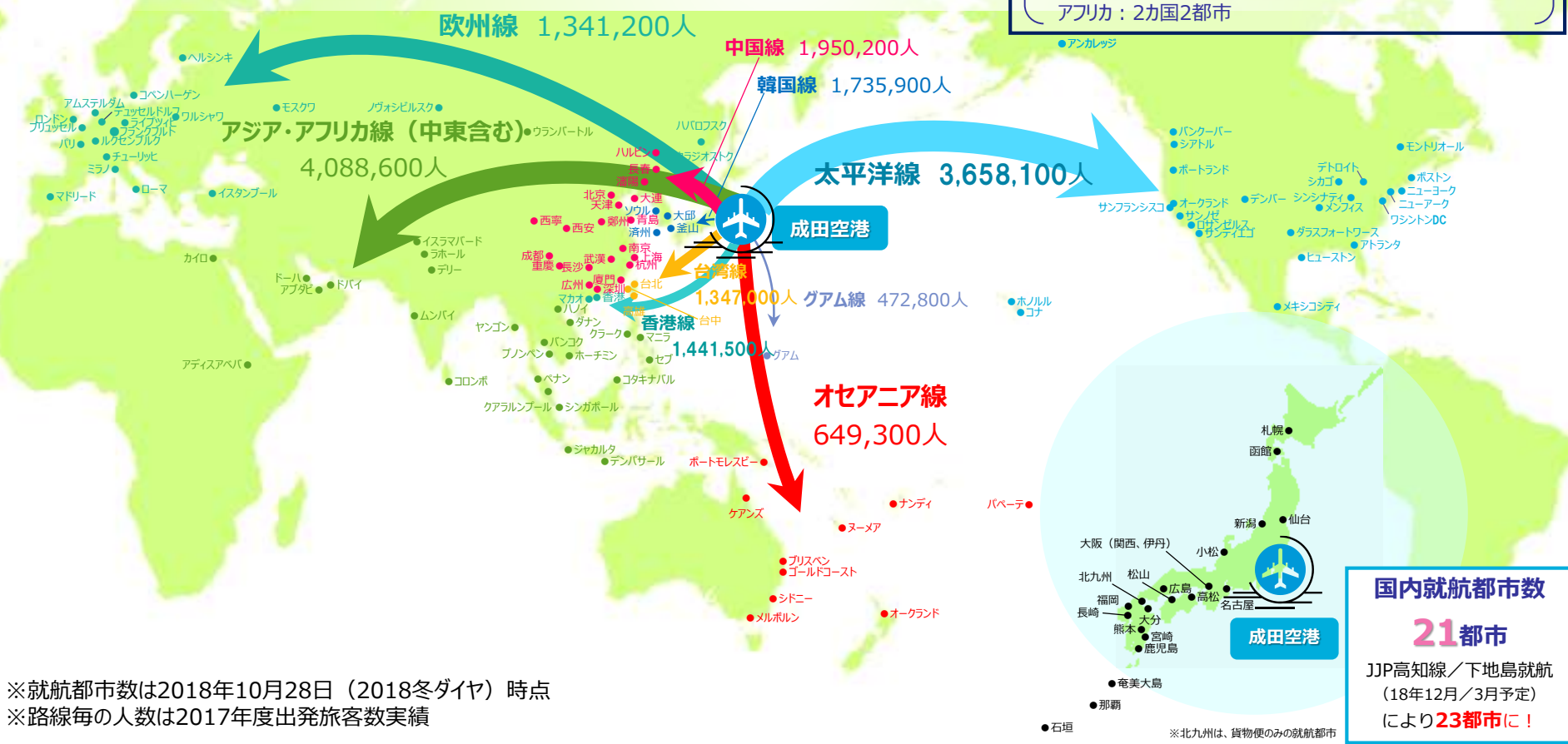
- 成田空港は日本と世界を結ぶ表玄関。東京という世界有数の経済都市を後背地に持ち、世界112都市と結ばれている豊富なネットワークが強み。国内空港と比較しても圧倒的な国際線ネットワークを保有
- 特に、アジアと北米の結節点として重要な役割を果たしている

成田空港発 就航都市一覧 (経由地含む)

合計 **133** 都市 (海外**112**都市、国内**21**都市)

海外就航都市数 39カ国3地域**112**都市

南北アメリカ方面：3カ国 25都市
 ヨーロッパ方面：14カ国 20都市
 アジア・中東・オセアニア方面：20カ国 3 地域65都市
 アフリカ：2カ国2都市



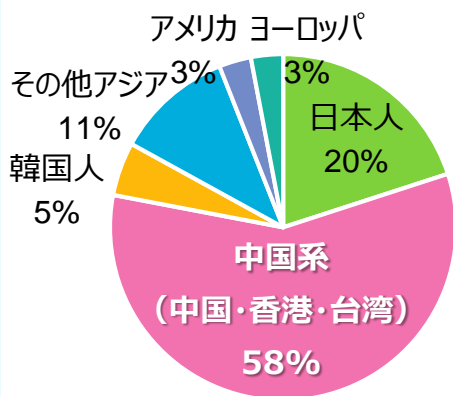
※就航都市数は2018年10月28日 (2018冬ダイヤ) 時点
 ※路線毎の人数は2017年度出発旅客数実績

リテール事業の足元の動向

- 中国系旅客は、国籍別売上高シェアで半数以上を占めており、購買客単価も日本人と比べると約1.6倍
- 国際線外国人旅客数の増加や到着時免税店、出国手続き後エリアの新規店舗の開業、更なる販売促進施策の実施等により、空港内店舗売上高は前年同期比で大幅に増加

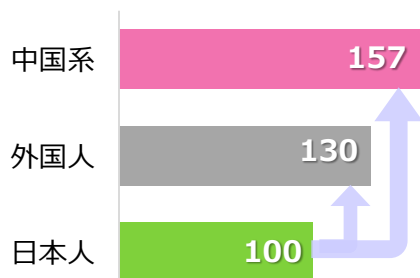
旅客データ（18年4～9月）

国籍別売上高シェア



購買単価

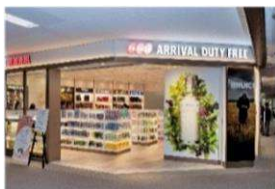
→ 日本人を100とした場合の単価



商業空間の拡充

到着時免税店 (第1・2・3ターミナル)

→ 合計5店舗
(2017年9月～12月)
※2018年度より通年店舗化



出国手続き後エリア 新規店舗 (第1ターミナル)

→ 新規17店舗
(2017年11月～2018年8月)



出国手続き前エリア 新規店舗 (第1・2ターミナル)

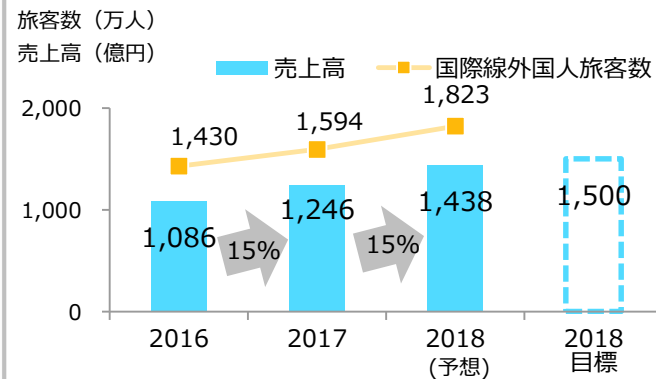
→ 新規4店舗 (2018年2月～9月)
(第1ターミナル)
✓ かんざし屋wargo
✓ 北斎グラフィック
✓ YAMATO craft gallery

(第2ターミナル)
✓ 築地銀だこハイボール酒場

<空港内店舗売上高前年同期比の推移>

18年度 (単位: 億円)	1Q		2Q		上期	
	売上高	前年比	売上高	前年比	売上高	前年比
飲食店	31	109%	37	113%	69	111%
物販店	128	111%	129	109%	258	110%
免税店	192	138%	198	127%	391	132%
総合 免税店	153	143%	157	129%	311	136%
ブランド ブティック	38	123%	41	117%	80	120%
合計	353	124%	366	118%	719	121%

空港内店舗売上高の推移



航空系収入：非航空系収入の割合

- 航空系収入：非航空系収入の割合は、2014年度に逆転
- 2018年度連結業績予想の航空系収入：非航空系収入の割合は、42:58となる見通し

